

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	天王町あけぼの園			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 11月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ~ 2025年 11月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 1日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムが多く、日々異なるプログラムを行っている。	利用者が主体となって全ての段取りを決める「子ども企画」では主体性を育み、他のプログラムでは保護者様やご利用者様からどこに行きたいか、何をしたいかをヒヤリングし職員のみではなく子どもたちが嬉しい、楽しいと思えるプログラム作りをしています。 また日々異なるプログラムを行うことで手先の使い方、身体の使い	保護者の皆様、こどもたちのニーズはできるだけすくい上げ、プログラムに組み込んでいく。 まだまだ挑戦したことのない活動を積極的に挑戦していきます。
2	余暇活動やプログラムの内容によっては、グループに別れ少人数での活動を行い一人ひとりに対しての支援を手厚くしていく。	グループに別れることで関わる人数が絞られその中で普段関わらないお友達と関わりを持てたり、関わり方を知ったりすることができます。 また少人数で行動することで職員の目が行き届きやすくなり支援が手厚くなることでより良い支援に繋がっていきます。	継続して選択制のプログラムを設けていきます。 別グループの利用者、職員それぞれ良かった点、楽しかった点を伝え合う場を設け、それらを聞いて「行ってみたい、やってみたい」といった気持ちを促せる様な場を設けていきます。
3	日々の支援の中に個別学習を取り入れ個々に合った学習内容を提供している。	日々の支援の中で気付いた点や、保護者からのご要望を洗い出し、その中で各自の目的やねらいを設定しています。 次にどの様に学習に持っていくか、どの様な学習内容にするかなど日々の打ち合わせの中で模索し実行しています。	一人ひとりの頻度をお子様の負担のない程度に回数を増やしていき、より良い支援と個別学習を実践していくことで 職員の支援力向上に努めています。 学習結果は都度、保護者へ書面で報告し継続していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内が狭く、部屋を分けることができない為、クールダウンや個別学習を行いにくい環境である。またグループ別での活動が行いにくい。	室内が狭く、ワンフロアしかないことが要因。	引っ越しの検討。 それまでは現在と変わらず、室内と外で別れての活動。時間を分けての活動などの工夫していく。
2	支援後の情報共有ができておらず、その日の内に振り返りができていない。	退勤時間がそれぞれ異なっていること。 送迎後に事務作業が必ずあることで話し合う時間を設ける事ができていない。	必要なことはノートや情報ツールを駆使して共有していく。 最初は5分でも良いので時間を設け、ルーティーンを作っていく。
3	保護者同士の交流や地域との交流が希薄。	情報が降りてきたら参加している。	此方から情報を取りに行き、積極的に各イベントに参加していく。 交流会を年一回から考えていく。